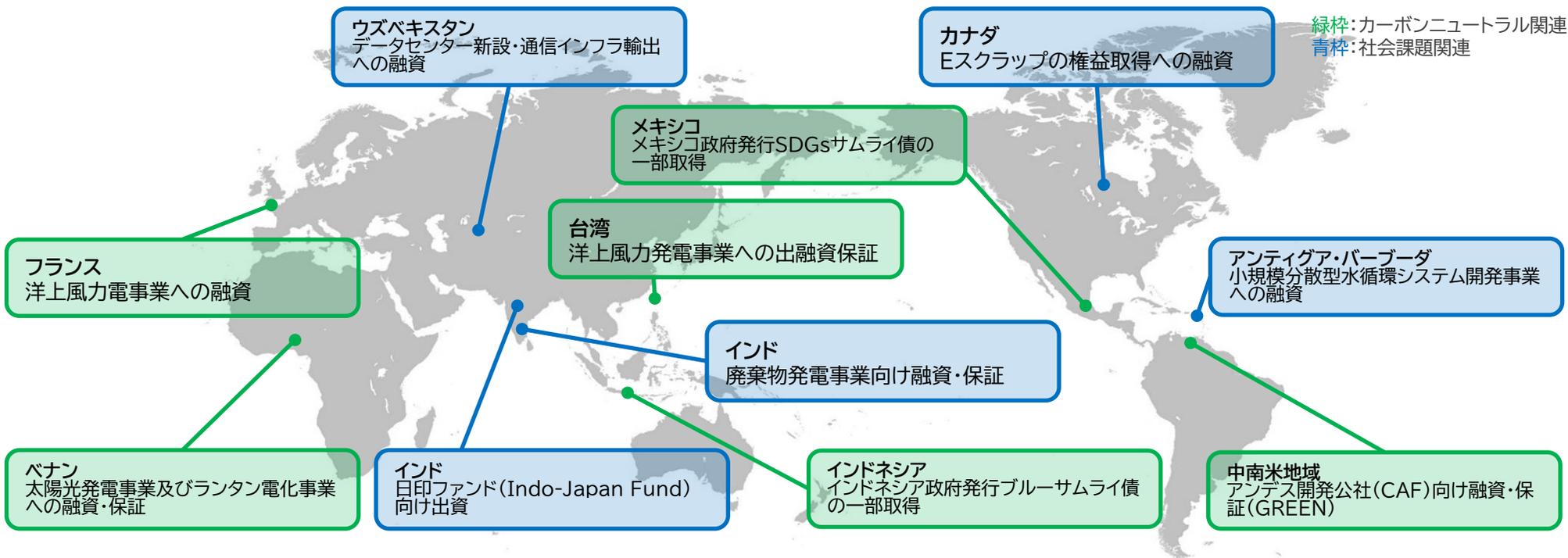


様々なステークホルダーと共に、世界共通の課題である**カーボンニュートラル**や相手国が抱える**社会課題**を達成・解決し、**持続可能な未来**を実現する

取組例(4期中計期間)



4期中計
関連実績の件数

111件



5期中計
関連目標の件数

143件

アラブ首長国連邦／アンモニア製造・販売事業に係る融資(2024年6月)

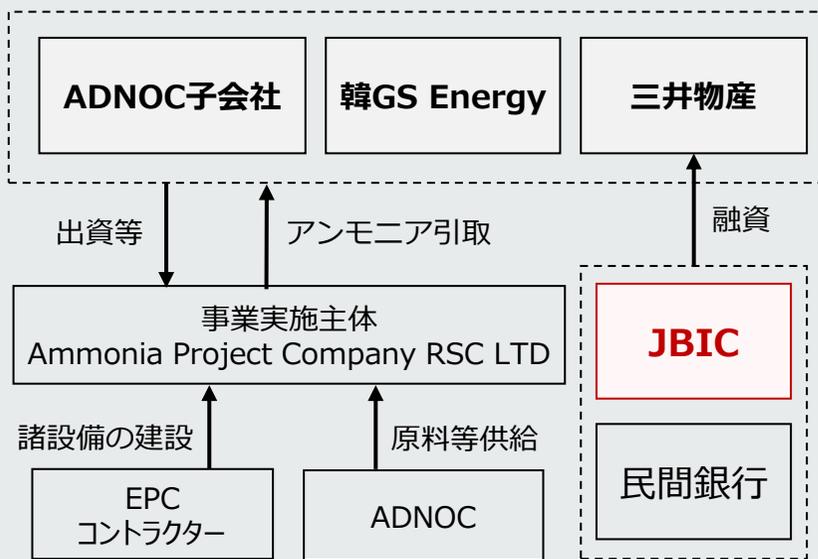
案件概要

- JBICは、三井物産との間で、同社がアラブ首長国連邦法人Ammonia Project Company RSC LTDを通じて実施するアンモニア製造・販売事業向けに、融資金額12百万米ドル(JBIC分)を限度とする貸付契約を締結。
- 本事業は、**2027年より年間100万トンのアンモニアを製造し、一定量を三井物産が引き取り、日本における燃料用途や化学・肥料原料等に利用予定。**
- 日本政府は「**水素基本戦略**」において、JBIC等公的金融機関のファイナンスを活用した海外から水素等サプライチェーン構築を図るとの目標を掲げている。本事業向け融資は、脱炭素社会の実現を見据えた**水素等海外サプライチェーンの構築及び脱炭素燃料としてのアンモニアの長期安定確保に貢献。**

プロジェクトサイト図



スキーム図



案件意義

- 世界で数多くの水素等製造事業が計画される中、本事業は世界に先駆けてサプライチェーン構築を目指す日本企業による先行事例であり、政策的に重要(水素基本戦略との合致)。JBICは、水素等サプライチェーンの構築を総合的に支援する観点から、水素等製造事業のみならず、**輸送・貯蔵・利活用に係る関連インフラ事業も支援**する方針。
- 日本と韓国**は、2023年11月に首脳間で「水素・アンモニア・グローバルバリューチェーン」構想に合意しており、本事業は**同構想に合致**。
- JBICにとって、水素等専担部署として2022年7月に次世代エネルギー戦略室を新設後、本案件は**脱炭素燃料の第1号案件**。